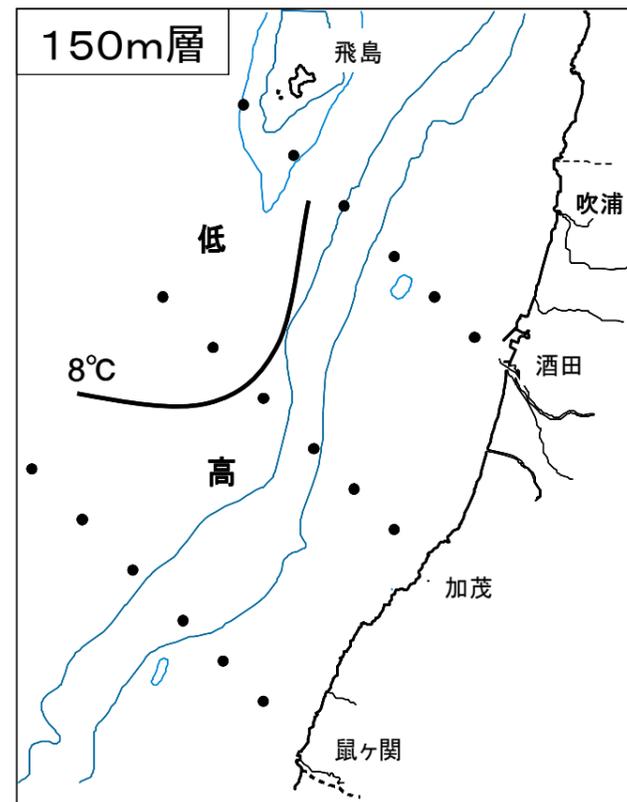
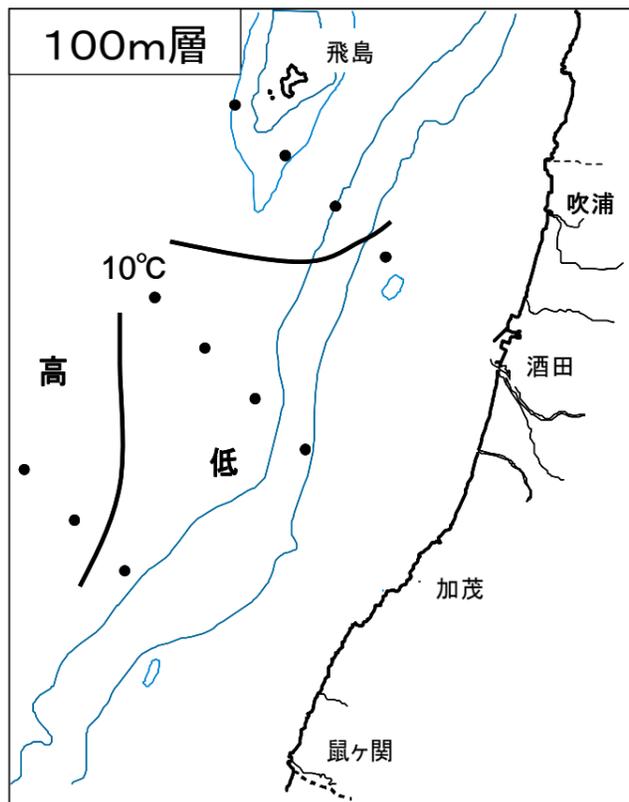
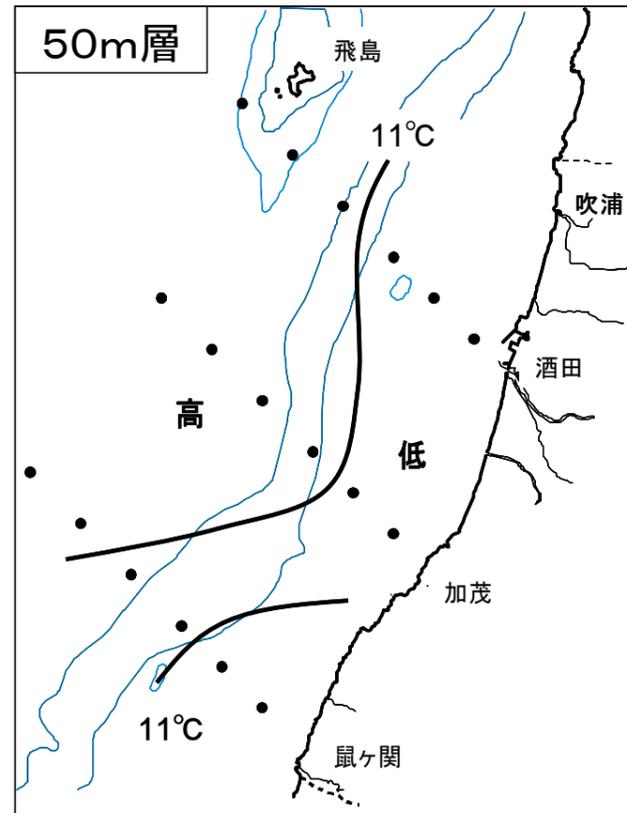
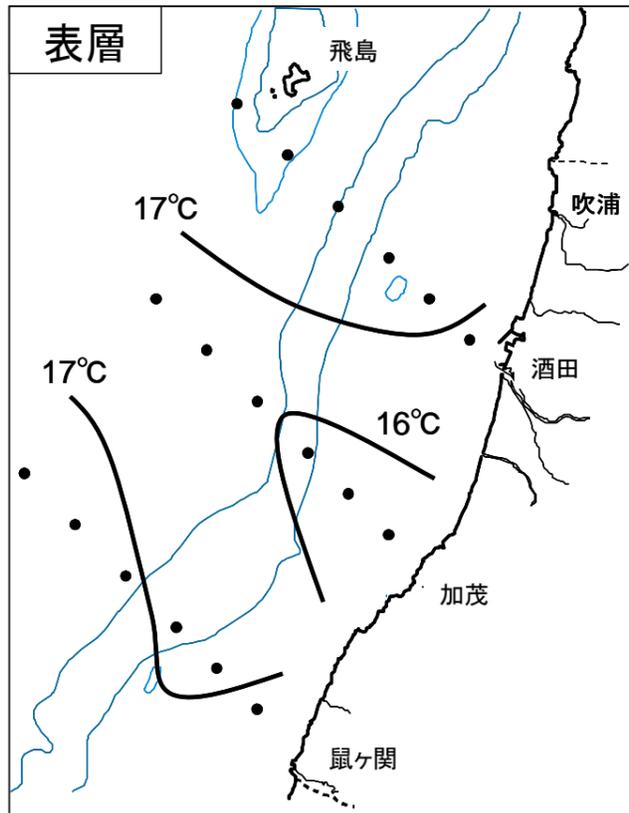


漁海況情報

第456 (平成22年6月14日発行)

発行: 山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

観測日: 5月31日~6月2日(月峯および最上丸)



地先水温 [5月の平均値]

単位: °C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	14.7	-1.5	-0.3	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬)	13.4	-1.2	-0.5	やや低い

各層別の平均水温

単位: °C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	16.9	10.9	10.0	8.8	6.8	2.0
前年差	-0.2	-0.8	±0.0	+0.6	+0.7	-0.3
平年差	-0.3	-0.6	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1
評価	平年並み	やや低い	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(かなり高い)	(平年並み)

* 水温の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年に1回の出現確率を表しています。

各種漁業情報

1、H22年度日本海マアジ長期漁況予報

5月24日、水産庁発表の9月までの漁況予報は「日本海中北部では1歳魚が中心で、前年並みの来遊が見込まれる。」となっています。本県ではやや遅れ気味ようですが、豊漁だった前年並みになることを期待しましょう。1歳魚は全長20cm位です。

2、スルメイカ漁の状況

6月上旬までの本県の漁獲状況は、水揚げ箱数94,650箱(前年比113%、平年比140%)、水揚げ金額101,374千円(前年比100%、平年比113%)となっています。中心銘柄はバラ詰で、全体の約7割を占めており、漁期前半に小型が多い傾向は平成20年から続いています。

3、中西部日本海のサワラ・マグロ漁況

魚種	県名	4月	前年比	5月	前年比
サワラ	京都府	195トン	91%	34トン	74%
	石川県	91トン	23%	182.7トン	98%
	富山県	64トン	34%	178トン	(中旬まで)
マグロ	京都府	5.2トン	465%	8.3トン	83%
	石川県	33トン	660%	10.6トン	46%
	富山県	—		1.5トン	(中旬まで)

各県水試調べ、主に定置網漁業の漁獲状況

4、大型クラゲ情報

韓国国立水産科学院および広島大学の調査では、済州島や上海沖で少量の目撃情報が寄せられています。前年はこの海域で6月下旬から大量出現が見られました。今後の情報に注意が必要です。(クラゲ情報は(独)日本海区水産研究所ホームページで随時更新されています。)

5、青マス、イワシの接岸

5月28日から6月4日にかけて、鼠ヶ関や由良の定置網に青マス(カラフトマス)計77尾が漁獲されるという、大変珍しいことがありました。また、6月10日には加茂地区のさし網に大量の大羽イワシが掛かり、これも6月としてはあまりない現象です。5月は不漁でしたが、遅れてきた模様です。

5月の漁況

概況

- 延べ操業隻数は、3,100隻で前年比92%でした。
- 総漁獲量は、647トンで前年比92%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は165トンで、前年比88%でした。ウマヅラ、アカエビは前年を上回りましたが、ヒラメ、カレイ類、タコ類、マダラは下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は165トンで前年比84%でした。タイ、ヒラメ、ウマヅラ、ワラサ、サワラは前年を上回りましたが、イナダ、アジは前年を下回りました。
- 採貝藻漁業の漁獲量は13トンで前年比86%でした。アワビ、サザエが前年を上回りました。また、昨年より2日遅い5月30日からイワガキ漁も始まりました。
- その他の漁業では、はえなわ漁業のタコ類、一本釣漁業のメバル、張網漁業のウマヅラは前年を上回り、いか一本釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のクチボソが前年並み、同漁業のヒラメ、はえなわ漁業のタイ、かご漁業のバイ類は下回りました。
- ウマヅラは底びき網、定置網でも好漁でしたが、日本海西部では昨年大型クラゲに付いてきたと思われるウマヅラの大漁が春先から報告されており、5月になって本県にも来遊したものと考えられます。

定置網漁業

単位:kg

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	16	43	21	29	109	101%	93%
タイ	543	3,105	4,996	21,467	30,112	1771%	742%
ヒラメ	202	2,347	1,129	854	4,532	83%	129%
ウマヅラ	493	4,004	3,322	3,372	11,192	221%	163%
ワラサ	3,868	18,901	9,572	5,083	37,425	248%	318%
イナダ	2,644	10,470	10,409	6,248	29,770	55%	33%
アジ	982	11,365	8,052	3,176	23,574	25%	37%
サワラ	5,498	4,290	3,507	3,233	16,528	500%	704%
その他	2,108	4,755	2,498	2,828	12,189	88%	81%
計	16,338	59,238	43,484	46,262	165,322	86%	84%
前年比	121%	80%	67%	115%	86%		
前年比	75%	63%	91%	141%	84%		

全漁業支所別漁獲量

* 前年比は平成17~21年までの平均値と比較した値です。

単位:kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	207	335	508	298	486	435	181	650	3,100	92%	79%
漁獲量	16,097	14,646	118,087	78,338	172,558	71,584	5,973	169,264	646,547	105%	92%
前年比	130%	71%	78%	338%	106%	81%	85%	111%	105%		
前年比	65%	87%	80%	104%	94%	89%	64%	102%	92%		

底びき網漁業

単位:kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	25	89	10	83	49	161	417	94%	79%
タイ類	227	17,556	147	1,337	4,149	2,766	26,182	138%	102%
ヒラメ	201	305	7	397	145	157	1,211	53%	51%
カレイ類	1,194	1,155	516	4,955	1,963	2,424	12,208	74%	61%
ハタハタ	1,290	764		13,299	4,286	27,580	47,219	142%	110%
ウマヅラ	16	7,630	97	158	3,437	1,681	13,019	327%	203%
タコ類	406	497	117	1,579	823	755	4,175	61%	60%
アカエビ	3	6,646		3	0	14,691	21,343	124%	121%
マダラ	75	107		828	223	2,733	3,966	160%	74%
その他	2,192	5,536	249	8,312	3,447	15,668	35,404	111%	59%
計	5,603	40,195	1,133	30,868	18,473	68,455	164,727	123%	88%
前年比	118%	128%	92%	111%	117%	130%	123%		
前年比	38%	91%	56%	96%	95%	91%	88%		

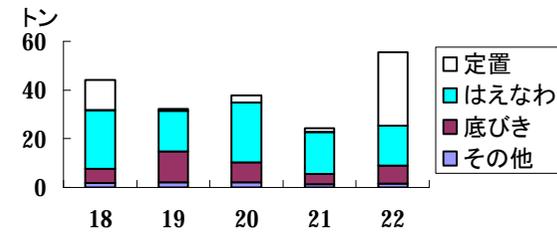
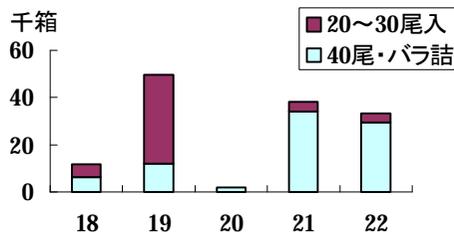
その他の漁業

漁業種類	いか一本釣漁業	さし網漁業		はえなわ漁業		一本釣漁業	かご漁業	張網漁業
延べ操業隻数	149	990		586		174	65	28
対象魚種	スルメイカ	ヒラメ	クチボソ	タイ	タコ類	メバル	バイ類	ウマヅラ
漁獲量(トン)	164.9	10.4	1.7	16.4	5.6	1.5	0.7	4.0
前年比	86%	83%	105%	95%	269%	250%	22%	901%
前年比	108%	74%	97%	75%	141%	272%	32%	467%

採貝藻漁業

単位:kg

支所	吹浦	加茂	由良	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	65	78	138	81	107	58	527	105%	105%
アワビ	78	194	156	197	210	183	1,019	115%	183%
サザエ	6	103	671	492	1,032	177	2,480	169%	137%
イワガキ	1,421	114	301	479	128	848	3,291	65%	85%
ナマコ	1,422	1,728	545	72	541	210	4,517	84%	82%
その他	44	126	1,093	402	37	88	1,790	27%	53%
計	2,971	2,266	2,766	1,641	1,947	1,505	13,096	68%	86%
前年比	106%	67%	90%	95%	130%	22%	68%		
前年比	116%	90%	84%	95%	99%	49%	86%		



最上丸の調査予定(6月中旬~7月上旬)

スルメイカ漁場一斉調査、重要魚種の加入量調査、海洋観測

- 日本海側各研究機関と共同でスルメイカの資源量調査を行います。
- ハタハタ、マダラ、カレイ類等、重要な底魚類の資源動向を明らかにするため、稚魚や幼魚の生息状況を調査します。
- 海洋観測を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いします。